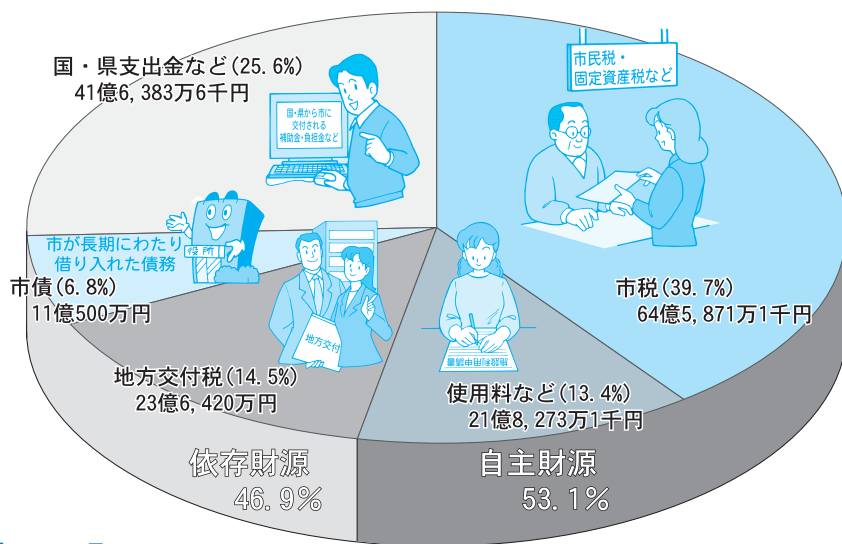


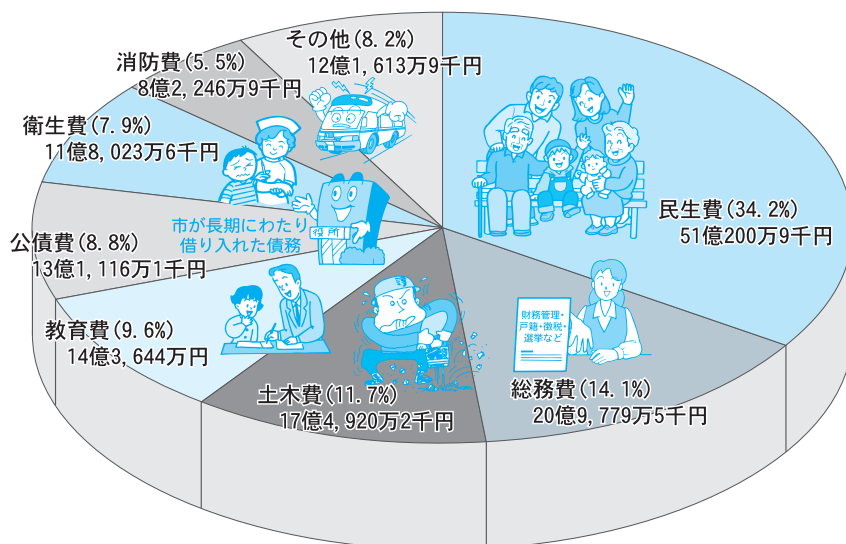
◆ 一般会計決算 ◆

平成23年度一般会計決算は、歳入が162億7,447万8千円、歳出が149億1,545万1千円で、歳入歳出の単純な差し引き(形式収支)は13億5,902万7千円となりました。このうち翌年度に繰り越して実施する事業のための繰越金9,094万円を除いた決算剰余金(実質収支)は、12億6,808万7千円の黒字となり、前年度より48.8%の増加となりました。

歳入 (いただいたお金) 162億7,447万8千円



歳出 (使ったお金) 149億1,545万1千円



市民1人あたりは？ (平成24年3月31日現在人口 54,231人)

1人あたりの市税負担額は？
119,096円(A)

(A)と(B)の差額155,940円は、国・県支出金、使用料、市債などで、まかっています。

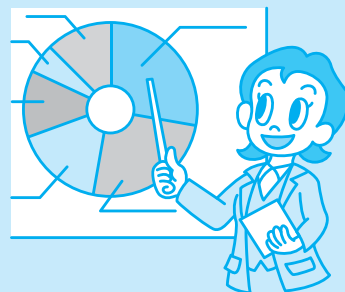
1人あたりに使ったお金は？
275,036円(B)

たとえば

民生費に	総務費に	土木費に
94,079円	38,683円	32,255円

平成23年度決算

平成23年度の決算が9月定例市議会で認定されました。ここでは、みなさんに納めていただいた市税や国・県からの支出金などの収入をどのように使ったのかをお知らせします。なお、決算書は市役所情報公開コーナーで閲覧することができます。



問合せ

財政課 (一般会計・特別会計)

☎ (43) 1111 内線 252

水道管理課 (水道事業会計)

☎ (48) 0050 (直通)

(3)

歳入の中で最も多いのは、みなさんに納めていただいた市税(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)で、全体の39.7%を占めています。なかでも市民税は、市税収入の約半分を占める大切な財源となっています。

なお、都市計画税とは市街化区域内の土地や家屋に課税されるもので、平成23年度は3億515万1千円の収入があり、主に下水道事業に使いました。

市税の状況

歳入歳出の状況

▼歳入は6.3%の増加

市税収入は引き続き低迷しているものの、地方交付税や国・県支出金が大幅な増額となったことから、歳入全体では前年度より6.3%増加しました。

▼歳出は5.4%の増加

国・県の景気対策による補助を受けた事業や生活保護費、子ども手当の支給の増加などの影響から、歳出全体では前年度より5.4%増加しました。

市債と基金の状況

市が長期にわたり借り入れ、返済している借金(市債)の平成23年度末現在高は14億3345万円で、前年度より3225万9千円減少しました。

また、災害復旧や大規模な事業などの財源として積み立てている貯金(基金)の平成23年度末現在高は20億777万1千円となり、前年度より3億6309万5千円増加しました。

◆ 特別会計決算 ◆

会 計 名	歳 入	歳 出
国民健康保険	72億3,840万9千円	65億2,577万6千円
後期高齢者医療	3億7,699万円	3億7,247万3千円
介護保険	24億7,064万円	23億2,870万7千円
農業集落排水事業	2,621万8千円	2,443万7千円
公共下水道事業	8億3,474万9千円	7億4,898万円
水道事業	収 入	支 出
収益的収支	11億1,099万7千円	9億9,799万9千円
資本的収支	2,641万3千円	3億4,278万3千円

● 健全化判断比率をお知らせします ●

～当市は、すべての比率で基準を下回っています～

健全化判断比率は、市の財政の健全度を判断するためのもので、それぞれ判断基準である早期健全化基準(「」で表示)などが設けられています。早期健全化基準はいわゆる「イエローカード」で、これを上回ると早期健全化団体と位置付けられます。

実質赤字比率 ー%[13.38%]

一般会計の赤字が一般会計の収入に比べ、どの程度かを表すもの。赤字ではないため、該当なし「ー」となります。

連結実質赤字比率 ー%[18.38%]

市のすべての会計を合算した場合の赤字の程度を表すもの。赤字ではないため、該当なし「ー」となります。

実質公債費比率 8.2%[25.0%]

市債の返済額などの程度を表すもの。

将来負担比率 46.8%[350.0%]

今後、返済する市債の残高など、将来支払う負債の程度を表すもの。

一般会計の主な事業と決算額

▼民生費(福祉に関する経費)

生活保護費の支給	8億9,641万円
子ども手当の支給	8億7,614万円
障がい者への自立支援の給付	5億5,156万円
子ども医療費の支給	1億1,637万円

▼総務費(市の内部管理などに関する経費)

日本保健医療大学設立に係る補助	1億円
本庁舎の耐震診断	209万円
市税のコンビニ収納	183万円

▼土木費(道路や橋、公園などに関する経費)

圏央道関連事業(産業団地整備を含む)	2億6,067万円
公園の維持管理	2億4,916万円
道路の維持管理	1億1,369万円

▼教育費(教育に関する経費)

長倉・香日向小学校の統合準備	7,033万円
私立幼稚園に通う園児の保護者への援助	6,531万円
小中学校スロープ・扇風機の設置	1,648万円

▼衛生費(保健やごみ処理に関する経費)

ごみ処理やリサイクルの推進	6億619万円
乳幼児などへの予防接種の実施	1億2,070万円
節目検診、各種がん検診などの実施	3,007万円

▼消防費(消防や災害対策に関する経費)

災害・防災対策の実施	3,074万円
消防団の消防ポンプ車の整備	1,595万円
福島県からの避難者に対する避難所の運営	1,124万円

▼その他

東日本大震災による災害復旧(高須賀池公園、道路など)	1億7,206万円
----------------------------	-----------